

「ダビデ 戦場へ」

2026.2.4

聖書に学ぶ 32

I サムエル記 17:1～53

今回の、ダビデと巨大な戦士ゴリヤテの対決は有名で、何度聞いてもワクワクします。

しかし超威圧感のあるゴリヤテに、一騎打ちなど、とんでもないと尻込みし、ビビるイスラエル兵。熊やライオンとそんなに変わらないと言うダビデ。この対比は注目に値します。「現実に対する恐れ」と「全能の神に対する畏れ」で、これほどの違いがあるとは驚きです。私たちもダビデのような信仰を持ちたいと願います。

今日の学びの要点

私たちは何を視点にものを見ているでしょうか。油注がれたダビデは聖靈に満たされ全能の神が見えていました。人の力を頼るのではなく、共におられる見えない主を見て、与えられている方法で進むなら、私たちにも勝利が与えられます。

I、ダビデ、ゴリヤテを見る

(I サムエル記 17:12～12)

1、父エッサイがダビデを戦場に送ったのは、何のためでしたか。

(I サムエル記 17:17～18)

2、戦場で兄たちと話しているとき、何を見聞したのでしょうか。

(I サムエル記 17～23、4～11)

①ペリシテのゴリヤテは、何を言っていたのでしょうか。 (I サムエル記 17:4～11)

(背丈： 6 キュビト半 = 2.92m、青銅の鎧 5000 シェケル = 57 kg)

②イスラエル兵はなぜ、ゴリヤテを恐れたのでしょうか。 (I サムエル記 17:24)

③ゴリヤテと一騎打ちして勝つたら、何が貰えるのでしょうか。 (I サムエル記 17:25)

3、ダビデはゴリヤテの挑戦は、どういうものだと言っていますか。

(I サムエル記 17:26)

II、ダビデ、サウル王に会う

(I サムエル記 17:31～58)

1、サウル王はゴリヤテと戦うことを止めましたが、ダビデがサウル王を説得した理由は何でしょうか。

理由 1 (I サムエル記 17:35～36)

理由 2 (I サムエル記 17:37)

2、ダビデは心配するサウル王の鎧と兜を断りました。ダビデが戦うために持っていたのは、何でしたか。 (I サムエル記 17:40)

3、信仰の戦いについて、ここで教えられることは何でしょうか。

①借り物では戦えない。

②常識的な考えでは戦えない。常識を越える信仰。

③主に全く信頼し、自分の力や経験に頼らないが、導かれたことを精一杯やる。

III、ダビデ、ゴリヤテと戦う

(I サムエル記 17:40～54)

1、近づいてくるダビデに、ゴリヤテは最初に何を言いましたか。

(I サムエル記 17:43)

2、ダビデはゴリヤテに何と言いましたか。 (I サムエル記 17:45～47)

3、結果はどうでしたか。 (I サムエル記 17:49～53)